

## 2025年度 教育計画

教科	数学	単位数	前期Ⅰ 後期Ⅰ
科目	数学A	スクーリング(時間)	前期Ⅱ 後期Ⅱ
科目の目標	①レポートの内容を精選することで、学習内容を理解させ、教科書を丁寧に読む態度を身につけさせる。 ②スクーリングでは各単元の重要事項をわかりやすく解説し、基礎的・基本的事項の定着を図る。 ③数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・原則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める。		
教科書	新数学A(東京書籍704)	学習書	新数学A 学習書(NHK出版)
副教材	なし	その他教材	新数学A 解答編(東京書籍705)

学期	月	項 目	内 容	スクーリング				テスト	レポート	
				本校	都城	小林	日南		回数	日
前期	4	場合の数	集合の要素の個数の関係や和の法則、積の法則などの原則について理解する。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。	20 28	27					
	5	確 率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の意味を理解する。条件付き確率の意味を理解し、確率を求めることができる。	18	25	11			第1回	21
	6	平面図形の基礎	垂直二等分線、垂線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	9					第2回	18
	7			7 13	20	6 20			第3回	23
	8	前期テスト	前期レポートは下記の範囲を中心に出题します。 前期レポート第1回～3回、テスト対策プリント(第3回 レポートに同封)					24		
	9							7		
後期	10	空間図形	2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。	6 12	5		19		第1回	22
	11	整数問題	2進法と10進法の理解を深める。素因数分解を利用し最大公約数、最小公倍数を求めることができる。ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。	3					第2回	19
	12	数学と人間の活動	長さや面積の単位、体積や重さの単位を調べることができる。古代の人々の時計や、暦(うるう年)について理解する。また、うるう年を決めた理由を考えることができる。	21						
	1	後期テスト	後期レポートは下記の範囲を中心に出题します。 後期レポート第1回～3回、テスト対策プリント(第3回 レポートに同封)	5	4	4		25	第3回	7
	2							8		
	3									